

子の貧困格差 日本下位から8番目

最貧困層の子どもは、標準的な子どもと比べてどれぐらい厳しい状況にあるのか。その格差を分析したところ、日本は先進41カ国中34位で、悪い方から8番目だった。国連児童基金(ユニセフ)が報告書をまとめ、14日発表する。日本について分析し、国際比較したのは初めて。

子どものいる世帯の所得分布(推計値)をもとに、下から10%目と真ん中との所得格差が大きいほど、子どもの貧困の深刻度が高いとして、格差の小さい順に順位付けした。上位の北欧諸国では、

先進41カ国 ユニセフ分析

最貧困層の子どもの所得は、標準的な子どもの6割ほどだった。日本では最貧困層の子どもは、標準的な子どもの4割に満たない。日本語版の解説を担当した首都大学東京子ども・若者貧困研究センター長の阿部彩さんの分析によ



子どもの格差

今回の分析は、18歳未満の子どものいる世帯の所得分布をもとに、下から10%目の子どもと真ん中の子どもの所得格差を「相対的所得ギャップ」と定義し、数値化した。所得分布は、世帯の年間収入を

ると、1985年から2012年にかけて、格差は拡大している。真ん中の所得が約177万円から211万円に上がったのに対し、最貧困層の所得は90万円から84万円に下がったためだ。各国の所得は、13年の調査データに基づく推計。日本の所得は、厚生労働省の13年国民生活基礎調査による12年の数値に基づく。(田中陽子)

世帯人数で調整して試算し、順番に並べたもの。一方、貧困の指標としてよく使われる「相対的貧困率」は、大人も子どもも含めて真ん中の人の所得(中央値)の半分(貧困線)に満たない人の割合。子どもの貧困率は、18歳未満でこの貧困線を下回る人の割合を指す。

子どもと貧困 格差の小さい順

1	ノルウェー
2	アイスランド
3	フィンランド
4	デンマーク
5	チェコ
6	スイス
7	英国
8	オランダ
9	ルクセンブルク
10	アイルランド
11	オーストリア
12	ドイツ
13	フランス
14	オーストラリア
15	韓国
16	スウェーデン
17	ニュージーランド
18	キプロス
19	スロベニア
20	マルタ
21	ハンガリー
22	ベルギー
23	ポーランド
24	カナダ
25	スロバキア
26	クロアチア
27	リトアニア
28	エストニア
29	トルコ
30	米国
31	チリ
32	ラトビア
33	ポルトガル
34	日本
35	イタリア
36	スペイン
37	イスラエル
38	ギリシャ
39	メキシコ
40	ブルガリア
41	ルーマニア